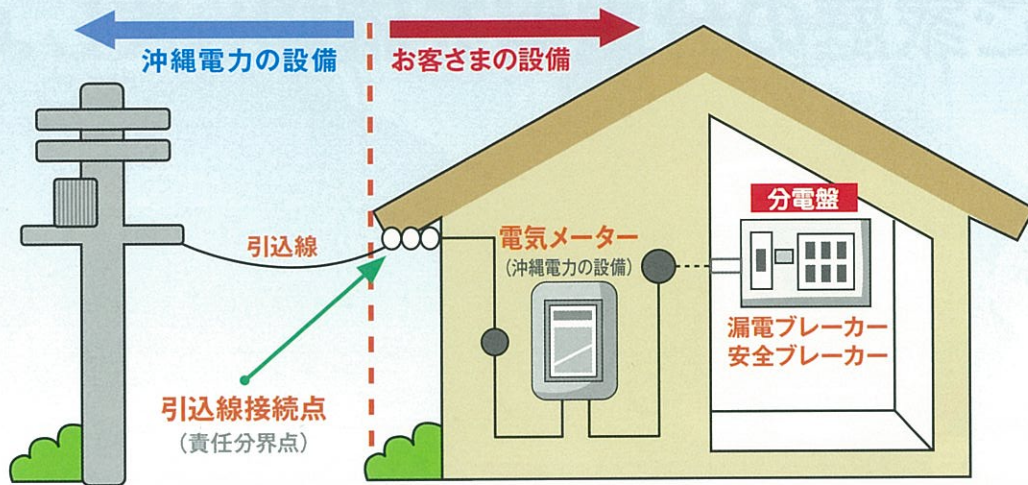


どこからがお客様の設備？

電気設備は誰のもの？

電気は沖縄電力の電柱などから引込線(ひきこみせん)を通して建物に送られ、ご家庭で使用できるようになります。しかし、電気を使用するための設備がすべて沖縄電力の設備というわけではありません。では、どこまでが沖縄電力の設備で、どこからがお客様の設備なのでしょう。

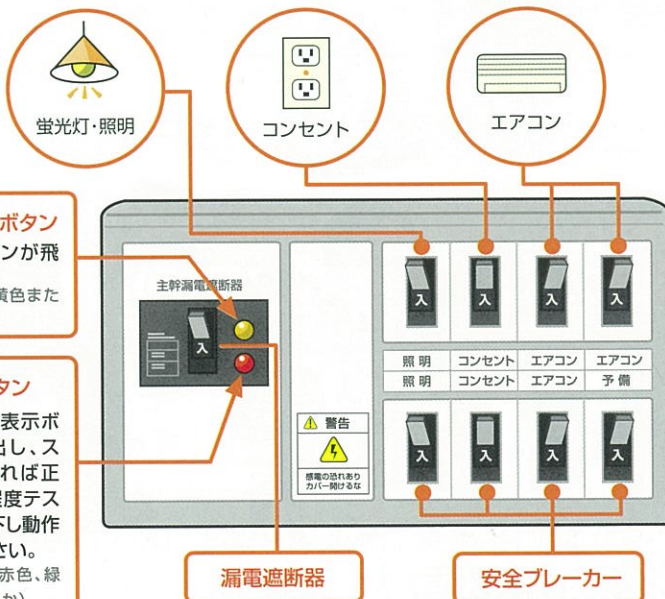


上の図のように、電柱から建物などに取り付けられた引込線までは、沖縄電力の設備です。そして引込線と建物側の接続部分である引込線接続点(責任分界点)が、沖縄電力とお客様の設備との境界となります。この引込線接続点よりも建物側にある設備(メーターは除きます)が、お客様の設備となるわけです。

分電盤と建物内の電気配線

建物内にある分電盤(ぶんでんぱん)も、もちろんお客様の設備です。分電盤には、漏電(ろうでん)ブレーカー、安全ブレーカーなどの安全装置が取り付けられており、建物内の電気配線や電気器具に異常が発生した場合に、電気を止めて感電や火災などを未然に防ぐことができます。

分電盤



漏電ブレーカー (ろうでん)

建物内の電気配線や電気器具から漏電すると、電気を自動的に止めます。

安全ブレーカー

分電盤から各部屋などに分かれる電気配線にそれぞれ取り付けられ、電気を一度にたくさん使いすぎたときやショートしたときに電気を自動的に止めます。

ちゅう せい せん けっ そう

中性線欠相とは?

ご家庭の電気配線

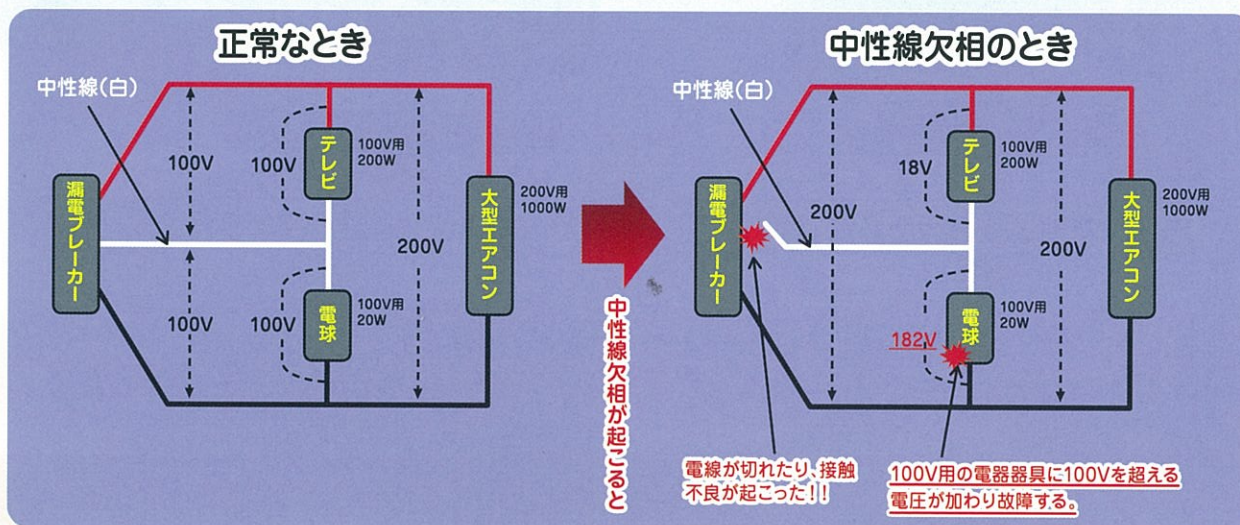
ご家庭の電気配線は大きく分けて2種類あります。漏電ブレーカーに接続されている電線が2本の場合は「**単相2線式配線(単2回路)**」といい、3本の場合は「**単相3線式配線(単3回路)**」といいます。

単3回路は配線のつなぎ方によって100Vと200Vを使用できるという特徴があり、200V用の電気器具(大型エアコン、IHクッキングヒーターなど)を使用することができます。

中性線欠相とは

単3回路は200V用の電気器具を使用できるため便利ですが、真ん中の電線(中性線)が切れたり、接触不良が起こると100V用の電気器具(テレビ、冷蔵庫、洗濯機など、ほとんどの電気器具)に100Vを超える電圧が加わり、電気器具の故障や場合によっては火災につながる恐れもあります。

この単3回路の真ん中の電線(中性線)が切れたり、接触不良を起こした状態を**中性線欠相**と呼びます。



中性線欠相が起こると、ご家庭のテレビ、冷蔵庫、洗濯機など100V用の電気器具に100Vを超える電圧が加わり故障することがあります。ご家庭の電気器具が故障し、数十万円の被害となる例もあり、場合によっては火災につながる恐れもあります。

安全のため(財産を守るため)

「中性線欠相保護機能付き」漏電ブレーカーに交換しましょう!

中性線欠相が起こっても電気器具の故障および火災を防止することができる「中性線欠相保護機能付き」漏電ブレーカーがあります。「中性線欠相保護機能付き」漏電ブレーカーは100Vを超える電圧が加わると、自動的に電気を止めて電気器具の故障および火災を防止することができます。

「内線規程※」では平成7年(1995年)から、単3回路には「中性線欠相保護機能付き」漏電ブレーカーを取り付けることになっており、現在では普及してきています。

※「内線規程」とは電気の工事に必要なことを取り決めた基準書です。

まずは、ご家庭の漏電ブレーカーが「**中性線欠相保護機能付き**」なのか確認しましょう!(次ページへ)

分電盤を確認しましょう

ご家庭の電気配線を確認しましょう。

ご家庭の電気配線が「**单相 2 線式配線 (単 2 回路)**」なのか「**单相 3 線式配線 (単 3 回路)**」なのか確認しましょう。建物の外壁にある電気メーターに表示されています。

※マンション、アパートなどはパイプスペースに電気メーターがある場合があります。

単3回路



交流**单相3**線式

中性線欠相保護機能が必要です。

単2回路

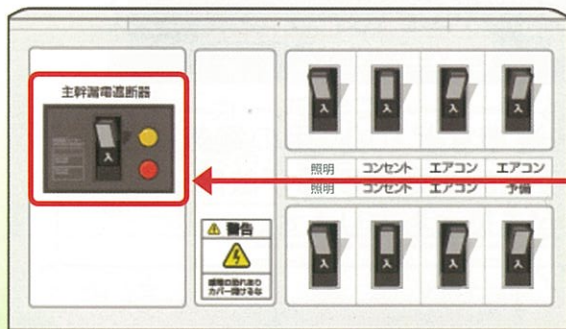


交流**单相2**線式

中性線欠相保護機能は必要ありません。

ご家庭の漏電ブレーカーを確認しましょう。

ご家庭の分電盤を確認し、漏電ブレーカーが「**中性線欠相保護機能付き**」なのか確認しましょう。



漏電ブレーカーに「**中性線欠相保護付き**」などと表示されていればご安心です。

「**中性線欠相保護機能付き**」ではない場合は
安全のため(財産を守るため)漏電ブレーカーを交換しましょう!

※交換費用はお客様のご負担となります。お近くの電気工事店へご相談ください。

【お問い合わせ先】 **0120-586-391**

※くれぐれもおかけ間違いのないようご注意ください。

受付時間 8:30~17:00 (土曜、日曜、祝祭日、慰霊の日、旧盆(旧暦7/15)、年末年始(12/29~1/3)のぞく)

IP電話の場合はこちら

098-993-7777 (有料)